保育園3歳児枠不足に関する意見書に対する乳幼児WG検討概要

委員の主な意見

- ・3歳から5歳の定員が横並びの園が多いなかで、4・5歳児の募集も少ない。退園 や引っ越しがない限り入る枠がないため、3歳児までの定員設定がある保育所でも 3歳児で申し込みをする保護者もいる。
- ・子どもが3歳まで育児休業を取れる大手企業も増えてきているため、育児休業を長く取れるようになった時の受け皿を用意する体制作りも必要である。
- ・保育コンシェルジュはとても親身に相談に乗ってくれる。昨年入園できた指数も教えてくれるので、色々対策がとれる。また、定期利用保育や無認可保育園等の情報も教えてくれて参考になった。こういった相談ができるということを周知していくべきである。
- ・昨年入園できた指数のボーダーラインを公開すれば、希望施設の順位づけも含め目 安となるのではないか。併せて、不安なども少しは解消されるのではないか。
- ・指数の公開は、入園が少人数の場合、個人が特定されてしまう可能性があるため配 「扇が必要である。
- ・今年から兄弟関係で指数が7ポイント付くようになったため、まず第1子を近くの 保育園に4歳児として転園することは一つの手段である。4歳児であれば点数が低くても入れるはずである。

区の考え方

・今年度、子ども・子育て支援事業計画に基づき、平成28年4月1日及び平成29年4月1日までの開設を見据えた認可保育所運営事業者をそれぞれ2回にわたり募集したほか、平成28年4月1日までの開設を見据えた小規模保育事業所運営事業者を3回にわたり募集を行ったなど、3歳児枠の拡充を含め、慢性化する待機児童問題の解消に向け、保育園の新規開設に全力を注いでいる。また、今後も引き続き定員拡充に努めていく考えである。

直近では平成27年10月及び12月に認可保育園を各1園開設したほか、平成28年4月に認可保育所1園、小規模保育所3園を開設する予定である。また、28年4月から、認証保育所1園が認可保育所へ移行する予定である。

平成28年4月1日の全保育施設の合計定員数は5,790名を予定しており、平成27年4月1日時点の定員数と比較し、221名の拡充となる見込みである。

- ・「認可保育所設置・運営事業者募集要項」において、「定員の設定に当たっては、0歳 児から3歳児までの各年齢で入所できるよう、定員を段階的に増加させる等の考慮を すること。」を求めることとしている。
- ・保育コンシェルジュは定例的な相談窓口のほかに、保育園利用希望者を対象に、前年度の入園状況、保育園の申込方法等について「知っておきたい保活への第一歩~墨田区の保育事情」という説明会を開催している(平成27年11月24日、平成28年1月13日・2月17日)。
- ・指数の公開については今後検討する。